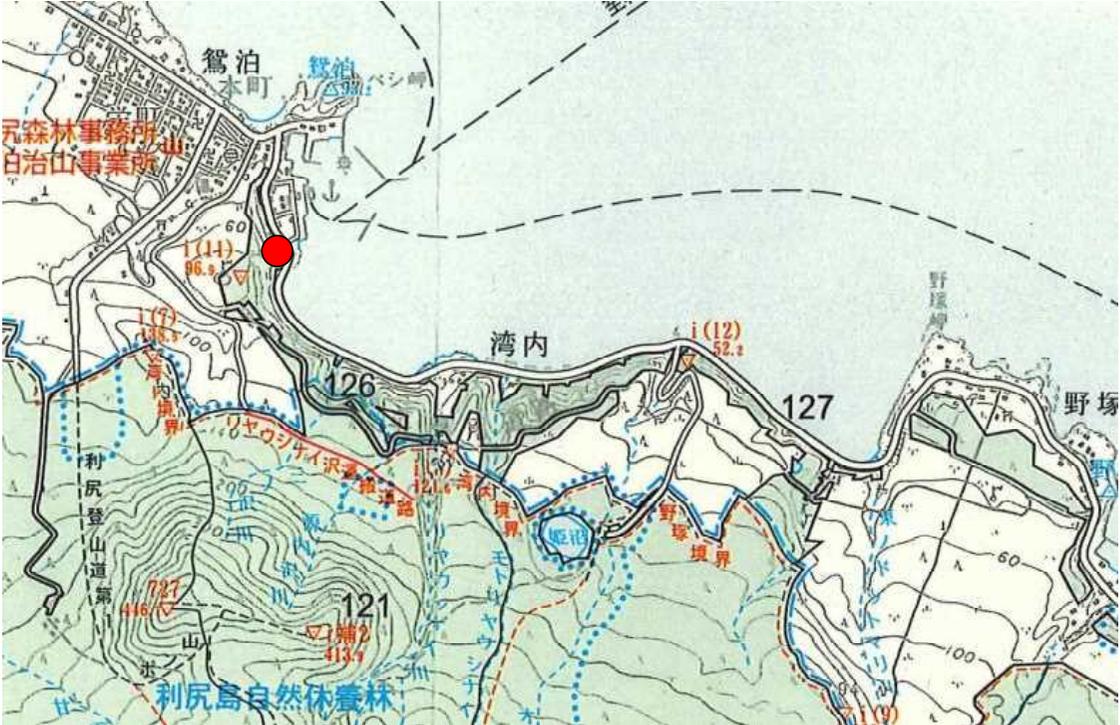


地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和3年度～令和5年度（3年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	炭山川 （たんざんがわ） （北海道）
事業目的	<p>当該箇所は、平野重機鉱業株式会社が発電用原料炭を供給するため、水源かん養保安林の指定解除の手続（平成13年7月31日付け、北海道告示第1315号により解除予定保安林）を経て採炭を開始していたが、平成28年5月28日付けにて事業停止、同年8月17日に破産手続を開始、その後は破産管財人との協議を重ね、和解合意に至ったものの、わずかな代替保安林施設の設置と緑化工のみで国有林へ返地された箇所である。なお、平成29年12月21日付けで札幌地裁滝川支部から破産廃止決定がなされ破産手続は終了。</p> <p>平成29年に解除予定保安林の指定を取り下げたが、石炭を含む土質は植生が成育せず、周囲からの植物の侵入も僅かで、そのまま放置すれば風化した斜面の侵食が進み、露出した石炭より自然発火し林野火災を引き起こす危険があるほか、侵食した土砂が流出して下流の炭山川及び道道芦別砂川線に被害を与える恐れがあるため、山腹工を実施するものである。</p>			事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署
主な事業内容	山腹工 0.50ha				
主な保全対象	道道115号芦別砂川線、炭山川（1級河川空知川支流）				
総事業費	90,000千円				
位置図	縮尺	1:50,000			

地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和3年度～令和4年度（2年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	湾内 （わんない） （北海道）
事業目的	当該箇所は、平成4年に補助治山事業で北海道が山腹工事を施工した箇所で、平成12年に移管されている箇所である。 平成27年の施設点検により、土留工の亀裂及び山腹面の滑動が確認されたため、平成30年より山腹工事を行っている。 直下には人家・道道108号線・養殖施設があり、また付近にはフェリーターミナルがあることから、今後の豪雨・融雪等により施設が崩壊した場合、これらの施設に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 このため、当該事業により山腹斜面の安定を図り、直下の重要施設への被害を未然に防止するため計画したものである。				事業実施主体 北海道森林管理局 宗谷森林管理署
	主な事業内容	山腹工 0.12ha（山腹固定工0.12ha）			
	主な保全対象	人家 1戸・道道 0.16km・養殖施設・ブロックヤード・フェリーターミナル			
総事業費	120,000千円				
位置図	縮尺 1:50,000				



地区概要表

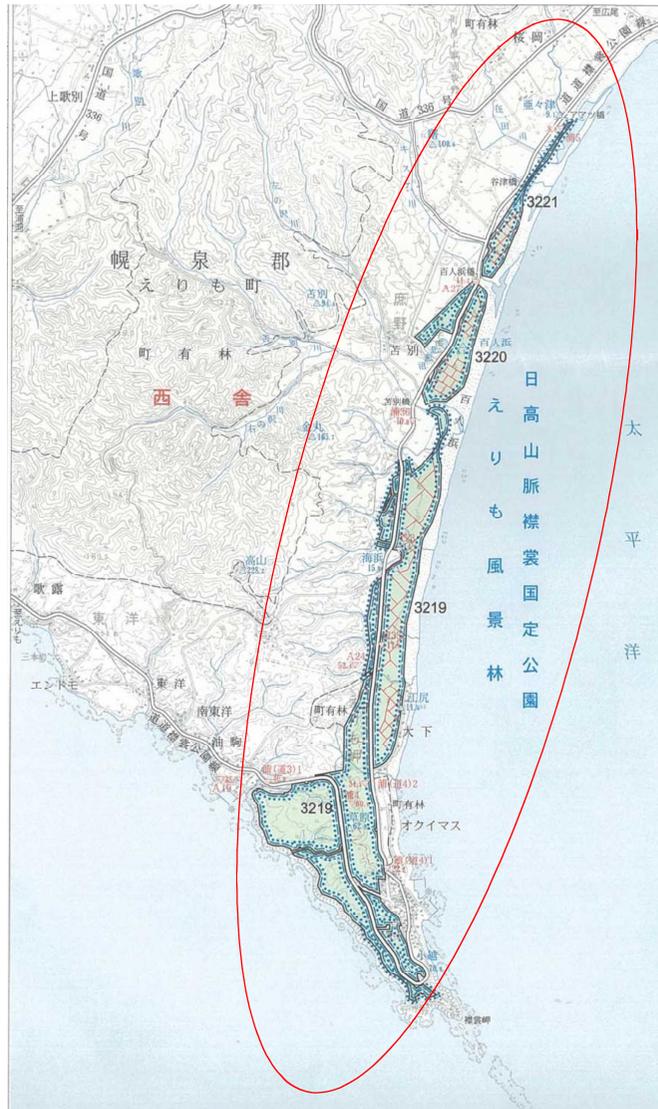
事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和3年度～令和4年度（2年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	桃岩 （ももいわ） （北海道）
事業目的	当該箇所は礼文郡礼文町桃岩地区に位置し、令和2年8月の豪雨（157.5mm/日）により土砂流出が発生し、山腹斜面中腹にある土留工を超え、保全対象近辺まで流出した。 山腹面には依然として不安定土砂が堆積している状況であり、今後の降雨により、崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出により下流の施設へ被害を及ぼす恐れがある。 このため、当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため計画したものである。			事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
主な事業内容	山腹工 0.24ha（落石防護金網、土留工）				管内図 
主な保全対象	宿泊施設 1棟（桃岩荘）				
総事業費	68,000千円				
位置図	縮尺	1:50,000			
					

地区概要表

事業名	防災林造成（国有林）	事業計画期間	令和3年度～令和12年度（10年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	えりも （えりも） （北海道）
事業目的	当地区は北海道日高地方の南端、えりも岬の東部に位置している。明治時代からの入植による森林伐採、過放牧、虫害等により荒廃し砂漠化し、飛砂、土壌流亡による海の汚染等が発生し、水産業および周辺の住環境に多大な影響を及ぼした。昭和28年より緑化事業を開始し、防風、飛砂防備、保健等の保安林としての目的を発揮している。ただ、一部未立木地も存在し、その緑化を地元からも要望されている。また、現在の林分はほぼクロマツの一斉林であるため、今後病虫害が発生した場合甚大な被害が予想される。そのため、植栽、本数調整伐、防風垣設置等の工法を組み合わせ、広葉樹の育成を図り林分の改良を促し、また未立木地の森林造成を計画するのもである。			事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署
主な事業内容	植栽工 11.88ha 本数調整伐 62.68ha 防風垣設置 5.96ha 枝打ち 14.96ha 地拵 11.10ha			管内図 	
主な保全対象	民家 135戸、道道34号襟裳公園線 14.0km、町道 6.0km				
総事業費	610,000千円				
位置図	以下に記載				

位置図

縮尺 1:200,000



 計画箇所

地区概要表

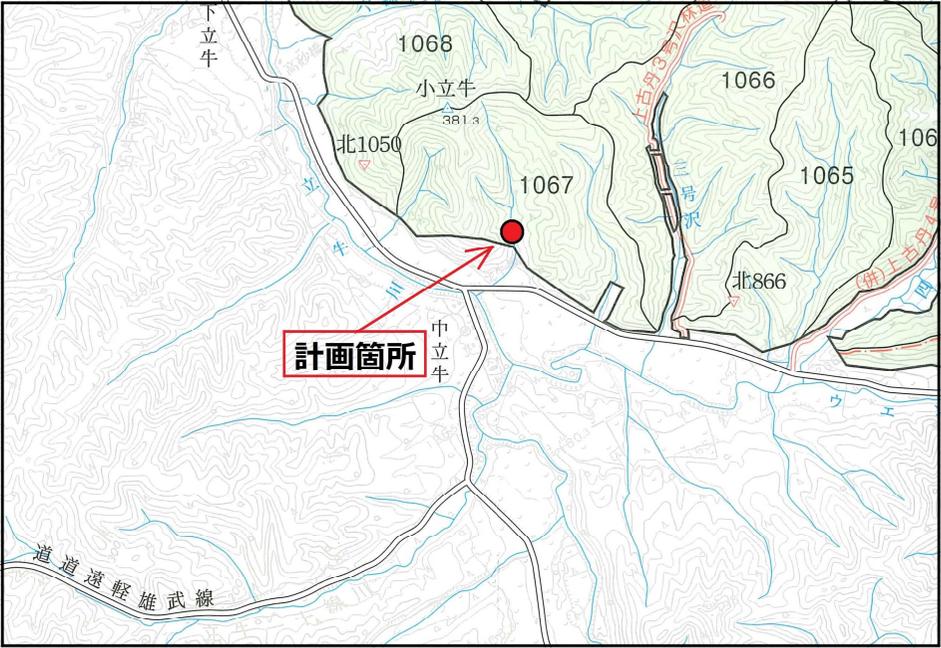
事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和2年度～令和3年度（2年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	223林班 （223りんぱん） （北海道）	
事業目的	当該箇所は本別町北東部に位置し、平成28年8月の豪雨により山腹崩壊が発生し崩壊土砂が幽仙境へ通じる町道へ流出する被害を与えた。 山腹斜面には依然として倒木を含む不安定土砂が堆積している状況であり、今後の豪雨及び融雪により、崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出により直下の町道へ被害を及ぼす恐れがある。 このため当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し、直下の町道の保全を図るため計画したものである。 令和2年度に詳細調査を行った結果、事業内容の変更に伴い総事業費及び保全対象が増加した為にB/Cの確認が必要となった。 このことにより、令和元年に行った評価について再評価するものである。				事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署
	主な事業内容	山腹工 0.43ha				管内図 
	主な保全対象	町道 1,200m 幽仙境				
	総事業費	261,000千円				
位置図	縮尺 1:50,000					

地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和3年度～令和7年度（5年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	浜中 （はまなか） （北海道）
事業目的	当該箇所は礼文郡礼文町浜中地区に点在し、令和2年8月の豪雨（172.5mm/日）及び9月の豪雨（63.5mm/日）により新たに山腹崩壊が発生し、崩壊土砂が下流の道道40号線へ流失し、被害を与えた。 山腹面には依然として倒木や損壊した施設を含む不安定土砂が堆積している状況であり、今後の降雨により、崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出により下流の道道や民家へ再び被害を及ぼす恐れがある。 このため、当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため計画したものである。			事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
主な事業内容	山腹工 0.12ha（1カ所）				
主な保全対象	道道40号 0.12km、人家 1戸				
総事業費	60,000千円				
位置図	縮尺 1:50,000				



地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和3年度～令和5年度（3年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	久保地先 （くぼちさき） （北海道）
事業目的	当該箇所は、紋別市の中立牛地区にある溪流で、山腹崩壊、溪岸侵食に伴う不安定土砂等があり、直下には牧場・人家・道道が存在する。 このまま放置した場合、今後の豪雨により立木及び不安定土砂等が流出し、下流にある牧場・人家・道道等に被害を与えるおそれがある。 このため、当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため計画したものである。			事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署 西紋別支署
主な事業内容	溪間工 1基			管内図 	
主な保全対象	道道 120m、牧場施設				
総事業費	50,000 千円				
位置図	縮尺	1:50,000			
					

地区概要表

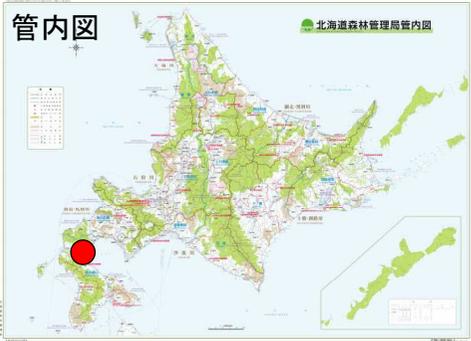
事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和3年度（1年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	フンベ （ふんべ） （北海道）
事業目的	<p>当該地は広尾郡広尾町南部に位置し、太平洋に面した国道336号線（通称：黄金道路）沿線の山腹斜面である。</p> <p>これまで、降雨や融雪、潮風等の影響により表層が崩れ、また露出した岩盤も風化の影響により崩落する恐れがあったことから、周辺では法枠工や落石防止網の整備がされてきたところである。</p> <p>本計画地の直下には国道336号及び漁家3戸が位置しており、令和2年春には落石により既設落石防止網が飽和し漁家に接するほどの状況であった。落石防止網の整備は一部分に留まり、大半は岩盤が露出している為、今後の降雨等により崩壊拡大及び落石が発生し直下の施設等に甚大な被害を与える恐れがある。</p> <p>このため、山腹工により山腹斜面の安定及び落石被害の防止を図り、隣接施設の保全に資するために計画したものである。</p>			事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部林管理署
主な事業内容	山腹工 0.15ha				
主な保全対象	国道336号 30m、漁家 3戸				
総事業費	20,000 千円				



位置図 縮尺 1:50,000



地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和3年度～令和12年度（10年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	美利河 （びりか） （北海道）
事業目的	<p>当該地域は、瀬棚郡今金町の美利河地区に位置しており、直下には檜山管内北部と渡島管内及び札幌・苫小牧方面を結ぶ国道230号線や全国一級河川の水質調査で幾度も「水質日本一」になっている国内有数の清流河川である後志利別川があり、下流では基幹産業でもある農業が盛んな地域でもある。</p> <p>本箇所は令和元年に地すべりの兆候があり、経過観察していたところであるが、依然として山腹斜面には滑り面が露出している状態にある。</p> <p>このまま放置した場合、地すべりの拡大により不安定土砂が流出し、下流の保全対象である人家・スキー場・国道230号線、美利河ダムに被害を与える恐れがあり、物流や医療等々の住民生活のみならず、農業にまで拡大しその被害は甚大になると想定される。</p> <p>このため、当該事業により地すべりの拡大防止及び不安定土砂の流出を抑制し、下流域の保全を図るために計画したものである。</p>			事業実施主体	北海道森林管理局 渡島森林管理署
主な事業内容	山腹工 6.02ha				
主な保全対象	人家 2戸、スキー場及び宿泊施設、国道230号 400m、美利河ダム（北海道開発局）				
総事業費	500,000千円				
位置図	縮尺	1:50,000			
